

第4学年2組 図画工作科学習指導案

1 題材名 ほってすって生き物発見

2 題材について

本題材は、学習指導要領「A表現」における「(2)ア 感じたこと、想像したこと、見たことから、表したいことを見付けて表すこと。ウ 表したいことに合わせて、材料や用具の特徴を生かして使うとともに、表し方を考えて表すこと。」をねらいとしている。また、「B鑑賞」における「(1)イ 感じたことや思ったことを話したり、友人と話し合ったりするなどして、いろいろな表し方や材料による感じの違いなどが分かること。」もねらいとしている。

本学級の児童は、3年生でシール版画を経験している。シールにインクが付いているため、濡れた和紙を版にのせてバレンでこするとインクがうつり、動物の形に切り取って版画を楽しんだ。

本題材の版画では、彫刻刀を使って彫り、版を作る。一枚の板を彫り進めていくのではなく、児童がのこぎりを使って版木を切ったものと教師が電動のこぎりで無作為に切った板切れを用意する。その板切れをいくつか組み合わせ、「想像の生き物」に見立てる。その後、イメージに合わせて模様を彫っていく。初めての彫刻刀なので、具象を彫るのではなく、イメージに合った模様を彫刻刀で彫ることで、絵を描くのが苦手な児童も彫刻刀の刃の形による彫り跡の違いを感じながら、抵抗なく彫ることを楽しめるのではないかと考える。また、児童が見通しを持てるように、学習の流れを記入したワークシートを用意し、一時間ごとに振り返りを記入していけるようにする。

素材は、カラー版木を使用する。片面に色が付いているため、彫ったところがよくわかる。そして、木目がない素材なので彫りやすく、木を彫った感覚を味わわせることができる素材である。

導入では、いくつかの木版画の作品、刃の形による彫り跡の違いや刷り上がった感じの違いを見せ、話し合う。板切れを組み合わせる表現や、絵の具やクレパスなどで彩色できることを確認し、意欲付けを図りたい。次に、彫刻刀の安全な使い方を指導し、小さめの板に実際に彫る活動を行う。そこで、彫刻刀の扱いに慣れ、彫り跡の違いや面白さを感じさせ、作品制作時には思いに合わせて彫り方を工夫できるようにしていきたい。その後、板切れを組み合わせ「想像の生き物」に見立てていく。「想像の生き物」をテーマとすることで、組み合わせた形から自由な発想で様々な生き物に見立てることができると考えた。また、模様を考える際の手立てとして、「模様コレクション」を作る。直線や曲線で作れるような模様を児童に考えさせ、紙にかかせていく。それを学級全体で共有し、模様を考える際に、コレクションから選べるようにしたい。

本時では、彫った作品を刷る活動を行う。ローラーを使い、刷ることが初めての児童なので、丁寧に刷り方を指導していく。刷り上がったなら鑑賞し、彫りの足りないところはないか、刷りの状態は十分かを確認させる。そして、再度彫ったり刷ったりする活動を行っていききたい。

刷り上がった作品が更に自分のイメージに近づくように、絵の具などで色を付けたり、周りをかき足したりして仕上げていく。絵具やクレパス、ローラーなど用意し、思いに合わせて選べるようにしていきたい。

素材	用具
版木（無作為に切ったもの）、版画用紙	版画用具一式、彫刻刀、絵の具、クレヨン・パス、養生テープ

3 児童の実態(男子10名 女子11名 計21名)

① 図画工作の学習は好きですか。

はい 19名

(理由：作るのが楽しい、想像するのが好き、工作が好き、絵を描くことが好き 等)

いいえ 2名

(理由：絵を描くことが苦手、うまくいかないから)

② 絵を描くことは好きですか。

はい 13名

(理由：描けると嬉しい、楽しい、心が落ち着くから、想像するのが好きだから)

いいえ 8名

(うまく描けないから、イメージ通りにいかない、色塗りが嫌い)

③ 形から想像するのは好きですか。

はい 20名 いいえ1名

④ 無作為に切った色紙を組み合わせて生き物を作りましょう。

見立てられた児童 18名

見立てられなかった児童 3名 (友達からの意見をもらって見立てられた)

⑤ 版画は好きですか。

はい 16名

(理由：反対に写るのがおもしろい、写すのが楽しい、道具がたくさんあって楽しい)

いいえ 5名

(上手にできない、思い通りにいかず難しい、想像するのが好きだけどそうではないから)

⑥ 彫刻刀を使ったことはありますか。

はい 3名 いいえ18名

⑦ 彫刻刀を使うのは楽しみですか。

はい 19名

(理由：初めての道具でわくわくする、使ってみたい、いろいろな彫り方をしてみたい)

いいえ 2名

(理由：版画が好きではない、あぶなそう)

(考察)

本学級の9割の児童は、図画工作の学習が好きと答えており、意欲も高い。想像する楽しさや、作ることの楽しさを感じている。ただ、領域別でみると、工作は好きでも絵を描くことに関しては苦手意識をもっている児童が全体の約4割いる。理由として、うまく描けない、イメージ通りにいかない、色を塗るのが苦手ということ挙げている。描きたいものや色のイメージはあるのだがうまく表現できず、技能面でのつまずきがみられる。また一度できないと思うと何もしなくなる児童が1名と気持ちが乗らないと学習への参加が難しい児童が1名いる。

版画の学習は、三年生でシール版画を行っている。しかし、その際、彫刻刀や版画インク、ローラーは扱っていないため、丁寧に指導していきたい。また、版画について2割の児童が好きではないと答えている。絵を描くことが苦手と答えている児童と重複しており、イメージ通りにいかないからという理由であった。様々な形の色紙を組み合わせて生き物に見立てることは、ほとんどの児童ができたが、3名は自分で見立てることが難しかった。しかし、後に友達からの意見をもらって3名とも見立てることができていた。

そこで、版に下絵をかいて表したいことを考える版画ではなく、様々な形の板切れを組み合わせて、想像の生き物に見立て、模様を彫っていく活動を行うことで、具象を描くことに抵抗がある児童も、意欲的に取り組めると考えた。板切れの組み合わせの際は、友達と見せ合ったり、気付きを話し合っ

たりする時間を設け、想像が広がるようにしたい。また、模様を彫っていく中で、様々な彫刻刀の彫り跡の違いを楽しませていきたい。

4 題材の目標

- 彫刻刀を使う活動を楽しみながら、版に表すことに取り組むことができる。 (関心・意欲・態度)
- 想像したことを基に、版に表したいことを考えることができる。 (発想や構想の能力)
- 彫る部分を考え、彫刻刀の特性を生かして版をつくるなど、表し方を工夫することができる。 (創造的な技能)
- 自分たちの作品を見て、表現のよさや工夫を感じ取ることができる。 (鑑賞の能力)

5 評価規準

関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
彫刻刀を使う活動を楽しみながら、版に表すことに取り組もうとしている。	想像したことを基に、版に表したいことを考えている。	彫る部分を考え、彫刻刀の特性を生かして版をつくるなど、表し方を工夫している。	自分たちの作品を見て、表現のよさや工夫を感じ取っている。

6 指導計画 (8時間扱い 本時 6/8)

時	児童の活動	○教師の支援●評価
1	○いくつかの木版画の作品、刃の形による彫り跡の違いや刷った感じの違いを見せ、表現について話し合う。 ○彫刻刀を使って版木を彫る。	○作品の提示や刃の形による彫り跡の違いや刷った感じの違いがわかる掲示物を用意し提示する。 ○木版画の作業工程について説明する。 ○彫刻刀の安全な使用方法について指導する。 ○小さな板を数枚用意して彫る活動をし、彫りの効果を試行錯誤させる。 ●彫刻刀を使う活動を楽しみながら、版に表すことに取り組もうとしている。 (関心・意欲・態度)
2	○板切れを組み合わせ、「想像の生き物」に見立てる。	○形の違う板切れを数多く用意しておく。 ○友達と見せ合ったり、気付きを話し合ったりする時間を設け、想像が広がるようにする。 ○版画用紙のサイズに合わせた枠紙を用意し、その中で組み合わせを行えるように伝える。

3～5	<p>○彫刻刀の安全な使用方法、刃の形による彫り跡の違いを確認する。</p> <p>○イメージに合った模様を考えて、板切れに線がきをする。</p> <p>○彫刻刀を使って板切れに彫る。</p>	<p>○写真付きのワークシートに彫る場所を書かせる。</p> <p>○「模様コレクション」を掲示し、模様を考える際の参考となるようにする。</p> <p>○彫り跡の違いがわかる掲示物を用意し、イメージに合わせて彫刻刀を選んで彫るように声を掛ける。</p> <p>○彫刻刀の安全な使用方法について再度指導する。</p> <p>●想像したことを基に、版に表したいことを考えている。 (発想や構想の能力)</p> <p>●彫る部分を考え、彫刻刀の特性を生かして版をつくるなど、表し方を工夫している。 (創造的な技能)</p>
6 (本時)	<p>○インクの量やローラーの使い方などを考えて刷る。</p> <p>○彫り足りないところや新たに彫り足したいところを彫る。</p>	<p>○刷り方について手順を見せて確認する。</p> <p>○ペアを組んで刷り、お互いに刷り上ったら鑑賞し合い、彫り足すところや刷り方について考えさせる。</p>
7	<p>○刷り上がった作品が更に自分のイメージに近づくように絵の具などで、色を付けたり、周りをかき足したりする。</p>	<p>○絵の具やクレヨンなどを使って仕上げた作品をいくつか用意し掲示する。</p>
8	<p>○友達と作品を見せ合い、彫りの工夫や表し方の面白さを感じ、伝え合う。</p>	<p>○付箋に友達の作品の良かったところや感じたことを書き、交換するように伝える。</p> <p>●自分たちの作品を見て、表現のよさや工夫を感じ取っている。 (鑑賞の能力)</p>

7 本時の指導

(1) 目標

- 彫刻刀で彫った作品を刷り、版に表すことを楽しむことができる。 (関心・意欲・態度)
- インクの量やローラーの使い方などを考えて刷ることができる。 (創造的な技能)
- 刷り上がった作品を見て、彫り方や刷り方を考えることができる。 (鑑賞)

(2) 展開(6 / 8)

学習活動	教師の指導・支援(○) 評価(●)	資料・用具
<p>1 刷り方の説明を聞き、刷り方を理解する。</p> <p>① インクを練り版に出す</p> <p>② 練り版上でローラーにインクを均一につける</p> <p>③ 前後左右、いろいろな方向に転がして版木にインクをつける</p> <p>④ 刷り紙を載せてバレンで全体をこする。</p>	<p>○刷りの活動がしやすいように机や用具を配置する。</p> <p>○掲示物を使いながら刷り方を説明する。</p> <p>○師範を見せ、ペアで刷る方法を伝える。</p>	<p>掲示物</p> <p>版</p> <p>インク</p> <p>練り版</p> <p>ローラー</p> <p>バレン</p> <p>新聞紙</p> <p>雑巾</p> <p>見当紙</p> <p>刷り紙</p> <p>画板</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> ぼく・わたしの想像の生き物を版に表そう </div>		
<p>2 ペアで刷り、彫り足りないところや刷り方について見合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・刷り上がって嬉しいな。 ・刷ってみると反対になっておもしろいな。 ・この模様をもっとはっきりさせたいな。 ・刷って見たらもう少しここに模様を足したいからさらに彫ろうかな。 ・少しかすれてしまったな。インクのつけ方に気を付けて再度刷ってみよう。 ・今度は版木の角度を変えて刷ってみようかな。 ・横向きではなくて縦向きにしてみよう。 	<p>○インクの量を確認させる。</p> <p>○練り版の上でインクをよく練るように声を掛ける。</p> <p>○刷り上がったら図工室背面に作品を並べるようにし、ペアで鑑賞させる。</p> <p>○彫り足りないところは彫るようにし、刷り方が上手くいかなかった場合も再度刷るように声を掛ける。</p> <p>●彫刻刀で彫った作品を刷り、版に表すことを楽しむことができる。</p> <p style="text-align: center;">(関心・意欲・態度)</p> <p>●インクの量やローラーの使い方などを考えて刷ることができる。</p> <p style="text-align: center;">(創造的な技能)</p> <p>●刷り上がった作品を見て、彫り方や刷り方を考えることができる。 (鑑賞)</p>	
<p>3 刷り上がった作品を全体で鑑賞する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平刀で彫るとやわらかい感じがでてイメージにあっているな。 ・彫り跡がしっかりでているな。 ・色を付けて仕上げるのが楽しみだな。 ・鋭い線が彫られていてかっこいい感じがする。 	<p>○友達作品をみて、それぞれの作品の良さを認め合うようにする。</p> <p>○何人かに感じたことを発表させ、全体で共有する。</p>	
<p>4 次時の活動について確認する。</p>	<p>○次時の活動について知らせる。</p>	

ほって すって 生き物 発見 !

名前[]

日付	学習活動	振り返り (感想、発見、友達のいいところ等)
	○木版画を知ろう。 ○彫刻刀 <small>ぼうこくとう</small> の使い方を知り、試しぼりをしよう。	
	○板切れを組み合わせ、「想像の生き物」に見立てよう。	
	○イメージに合ったもようを考えて、線がきをしよう。	
	○彫刻刀を使って板切れにもようをほろう。	
	○彫刻刀を使って板切れにもようをほろう。	
	○インクの量やローラーの使い方などに気を付けてすろう。	
	○すり上がった作品が、自分のイメージに近づくように絵の具などで、色を付けたり、周りをかき足したりしよう。	
	○友達と作品を見せ合い、ほりの工夫や表し方の面白さを感じ、伝え合おう。	

ほって すって 生き物 発見!

名前

★どんなものしようかな。 ★どのちょうこくとうでほろうかな。

題名



彫る

彫る

彫る

流し

彫る
刷る
刷る

刷る
刷る
刷る

刷る
インク 練版
刷る場所
刷る
刷る

流し

背面 鑑賞スペース